



令和5年3月22日(水)



校長室より(187)

こんにちは。

きのう しゅんぶん ひるま
昨日は「春分の日」でした。春分の日は、昼間と夜の長さがほとんど同じで、その翌日からだんだん昼間が長くなっていきます。そして、春分の日を挟む前後3日間を「お彼岸」と言っ、先祖を供養する期間になっています。先週の土日曜日や昨日、お墓参りに行った人もいるかもしれませんね。また、「暑さ寒さも彼岸まで」言われていて、これから先は、季節がどんどん「春」に向かっていきます。

そんな春分に日にWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)の準決勝「日本対メキシコ」があっ、朝からテレビに釘付けになっていました。これまで順調に勝ち進んでいた日本ですが、相手のホームランで3点を先制されて負けムードで試合が進みました。終盤になって、日本にもホームランが出て同点になったものの、またすぐに点を取られてしまったときは、再び諦めモードに入りました。でも、「侍ジャパン」のメンバーは諦めることなく戦い続、最終回に二刀流の大谷選手と、これまでほとんど打てなかった村上選手がガツンと打ってサヨナラ勝ちをしました。その試合は、リアルタイムで観ていた人も多いと思います。あまりに感動的な幕切れだったので、私の目から涙がこぼれてしまいました。「最後まで決して諦めないこと」を昨日の試合から学びました。

けっしょうせん けっか
今日の決勝戦の結果は、もうみんなも知っていると思います。